別記様式12号

新上五島警察署協議会第１回会議議事概要

日　　時	令和６年１月22日（月）13時43分～15時25分
場　　所	新上五島警察署講堂
出　席　者	１　協議会 水村会長　小原委員　楠本委員 ２　警察署 岡田署長　山中副署長　木庭刑事生活安全課長 宅明地域交通課長 ３　書　記 警務係長
会議の状況	１　前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 刑事生活安全課長及び地域交通課長から、前回協議会における提出意見である「高齢者に対する防犯・交通安全対策の推進」に対する取組状況について、次のとおり説明があった。 (1) 防犯対策について ア　防犯キャンペーン等の実施 (ｱ) 令和５年10月中、犯罪なく３ば運動モデル地区である新上五島町青方郷地区において、老人会会長等と合同で、同郷に居住する高齢者宅を訪問し、ニセ電話詐欺被害防止や鍵掛けの徹底などについて防犯指導を実施した。 (ｲ) 令和５年10月26日、新上五島町青方郷所在のスーパーマーケット駐車場において、県警察マスコットキャラクター「キャッチくん」を招いた防犯キャンペーンを実施した。 (ｳ) 令和５年12月の年金支給日に併せて、新上五島町青方郷地区及び奈良尾郷地区において、ニセ電話詐欺被害防止や鍵掛けの徹底などの犯罪被害防止に関する声掛けやチラシなどの防犯グッズを配布するキャンペーンを実施した。 イ　ニセ電話詐欺被害防止対策について (ｱ) 自動通話録音（警告）機（通称：撃退機）の設置を希望する高齢者宅に同機器を設置した。 (ｲ) 新上五島町役場の防災行政無線を利用して、警察署長からのニセ電話詐欺被害防止に係るメッセージを放送した。 (ｳ) 新上五島町タクシー協会の協力を得て、町内で稼働する４事業所、合計48台のタクシーの車内にニセ電話詐欺被害防止に係るチラシを掲示した。 (2) 交通安全対策について ア　当署管内において、２年間交通死亡事故ゼロを達成したことから、令和５年10月４日付けで、本部長賞を受賞した。 イ　各地区で開催されている高齢者が集まる会合等に出席して、交通横断「手のひら運動」の徹底を呼び掛けるなどの交通安全

講話を実施した。

ウ　新上五島町浦桑郷所在の浦桑交差点信号機の故障に伴い、高齢者等の交通事故防止のため、５日間にわたり、延べ48人の警察官を動員して交通整理を実施した。

エ　各地区の横断歩道付近における街頭監視や交通指導取締りを強化した。

２　令和５年10月から12月までの業務重点推進結果について

刑事生活安全課長及び地域交通課長から、次のとおり説明があった。

(1) 年末に向けた各種犯罪抑止対策の推進

ア　地域交通課地域係員と連携した「見せる警戒」の強化

イ　地域安全パトロールの実施

ウ　薬物乱用防止教室の開催

エ　猟銃事故防止対策指導研修会の開催

オ　新上五島町教育委員会に対する防犯ハンカチの贈呈

カ　第50回青少年柔剣道・空手道大会の開催

キ　令和５年度防犯功労者表彰の実施

ク　幼稚園等における不審者対応訓練及び防犯講話の実施

(2) 年末に向けた総合的な交通事故抑止対策の推進

ア　トンネル内におけるライト点灯呼び掛け運動の実施

イ　新上五島町役場等との合同による車両パレードの実施

ウ　街頭における交通安全広報活動「さわやか作戦」の実施

エ　酒類提供の飲食店に対して「ハンドルキーパー運動」に対する協力依頼の実施

オ　地域交通課員による交通安全立しょう活動等の街頭活動の強化

カ　交通指導取締り活動の強化

３　業務重点推進計画について

署長から、次のとおり説明があった。

(1) 歩行者の交通事故抑止対策及び街頭活動の推進

(2) 各種広報活動の推進

４　令和６年上半期速度取締りの指針について

地域交通課長から、次のとおり説明があった。

(1) 新上五島警察署の速度取締り重点

(2) 新上五島警察署管内における交通事故実態

ア　令和５年中における人身事故多発地域

イ　時間帯別交通事故発生状況

ウ　令和５年中における人身事故の発生原因等

(3) その他交通指導取締りの要点

５　令和６年新上五島警察署業務運営重点について

署長から、令和６年における新上五島警察署業務運営重点について、次のとおり説明があった。

(1) 犯罪から県民を守る総合的な取組の推進

	(2) サイバー空間の脅威への的確な対処 (3) 悪質・重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進 (4) 交通死亡事故・重傷事故抑止対策の推進 (5) 治安情勢の変化や緊急事態への的確な対処 (6) 活力に満ちた魅力ある職場環境の確立
提 出 意 見	○　効果的な広報活動の推進 　各種広報媒体を活用して、防犯や交通安全、防災対策などの住民とって有用な情報をタイムリーに発信することで、住民の安全・安心に資する広報活動を推進してもらいたい。